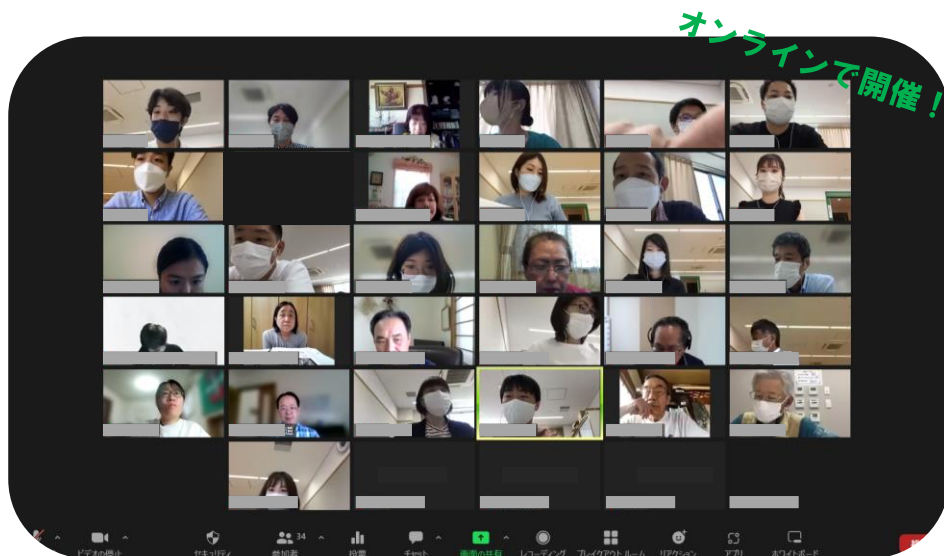


まちづくり市民懇話会

とことん懇話会

TOPICS

第32回目は「実際の行動に移してみる」のフェーズに移り、「情報発信・情報共有の仕組みの試行」をテーマに、全体で情報発信の手段について共有したあと、グループごとに知りたい情報の取得方法・情報を相互に共有する仕組みについて議論しました。



とことん1

到達目標 情報発信の手段について、その特徴を確認しましょう。

全体で、情報発信の手段（種類）について、その特徴と岸和田市の取組を確認、共有しました。

▼資料より主な手段（種類）とその特徴を抜粋

種類	特徴
Instagram	写真と動画に特化したSNSで、10代～30代のユーザーが多い。「インスタ映え」する写真や動画を投稿することでユーザーの関心を集めることで注目されている。
Twitter	140文字までの短いメッセージ（ツイート）を投稿するSNSで、拡散性・流動性が高くユーザー層も幅広い。
ウェブサイト	ユーザーの属性に偏りが少ない（ユーザー層が幅広い）。情報蓄積型の情報発信ツールとして活用するのが一般的。
広報紙	市政情報を伝えることが目的。市・住民同士が、行政の方針や考え方、施策など市政に関する認識をそろえられる。
回覧板	町会や自治会など身近な地域の情報を伝えることが目的。会員同士で地域に関する認識をそろえられる。

■開催概要

第32回：令和4年 6月26日（日）
場 所：オンライン＋福祉総合センター（臨時オンライン会場）
参 加 者：市 民：現地オンライン 2名 オンライン 12名
若手職員：現地オンライン 4名
議 題：1. 情報発信の手段について
2. 次回について

とことん2

到達目標 知りたい情報の取得方法について意見交換しましょう。
行政だけでなく、個人や団体などが持つ地域の情報を相互に共有するための方法や仕組みについて意見交換しましょう。

グループに分かれ、個人の情報取得方法から課題や必要な取組、情報を相互に共有するための方法や仕組みなど意見交換しました。

●知りたい情報の取得方法について（一部抜粋）

テーマ	取得する方法	困りごと	改善策
行政情報	広報紙、市HP、回覧板など	必要とする情報がどこにあるかが検索しづらい	欲しい情報を効率よく取り出すシステムが必要
子育て情報	広報紙、市HP、市アプリ（きしまる）など	きしまるの通知が多すぎて、欲しい情報が埋もれてしまう	きしまるの情報画面を整理してはどうか
イベント情報	広報紙、市HP、市アプリ（きしまる）、SNSなど	告知の情報のみ、または結果の情報のみが掲載されている	告知と結果の両方を掲載すれば、関心を持つ人が増えるのではないか
その他（災害・防災など）	WEB検索、SNS、口コミなど	災害時は電話回線がパンクしやすい	インターネットを使って、エリアの災害情報をみんなで投稿して共有できるシステムはどうか

●情報を相互に共有する仕組みに関する意見（一部抜粋）

- ・有線放送の活用（廃品回収などのお知らせだけでなく、イベント情報も流してもらうなど）
- ・広報紙とHP、SNSなどの媒体を繋ぐ仕組みづくり

など

とことん3

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です



市民

- ・情報の受け取り手は興味あるものしか受け取らないので、興味のある情報に早くたどり着ける工夫が必要だと思う。
- ・情報が得られない人を出さない（誰一人取り残さない）ような、工夫やシステムが必要だと思う。
- ・ターゲットに合わせて興味のある情報をどうやって届けるのか、その仕組みが難しい。



若手職員

■今後の予定

- 【第33回】令和4年7月10日（日）⇒ 情報発信の収集方法について ※書面開催
【第34回】令和4年7月24日（日）⇒ 情報発信の実践メニューの検討、情報共有の仕組みの検討
【第35回】令和4年8月7日（日）⇒ 総合計画・都市計画マスタープランの検討（パブコメ結果を踏まえ意見交換）